

# 「領土教育」の充実と竹島問題

第三期島根県竹島問題研究会副座長 島根県竹島問題研究会顧問

佐々木 茂

一、「領土教育」の充実について  
文部科学省は、平成二十二年告示の「中学校学習指導要領解説 社会編」で竹島問題について記述され、翌三十一年告示の「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編」の記述に関して、「中学校と同様、竹島を指導するという趣旨」と説明している。

次いで、平成二十六年一月には、中学校と高等学校それぞれと同教科の学習指導要領解説の一部改訂を公表し、その中で竹島が日本固有の領土であることや韓国によって不法占拠されていること等が明記された。

また、二十五年十二月には「学校における海洋に関する教育について」を示し、小学校社会科、中学校社会科、理科、高等学校地理歴史科・公民科・理科の教科書には、「国土の東西南北の端、日本の領土問題、領海や排他的経済水域、漁業資源、海水の動きが気象に及ぼす影響等」について記述されている。

一方で、領土問題担当大臣のもとで開催された有識者懇談会では、平成二十五年七月にとりまとめられた報告書の中で、領土・主権に関する理解が国民の間に深まるためには、教育が重要であることが指摘されている。このように、領土問題について教育の果たす役割の重要性が再確認され、文部科学省や内閣官房に設置された領土・主権対策企画調整室を中心に諸施策が進められており、学校教育を始めとする「領土教育」の充実が図られている。

## 二、島根県の取り組みについて

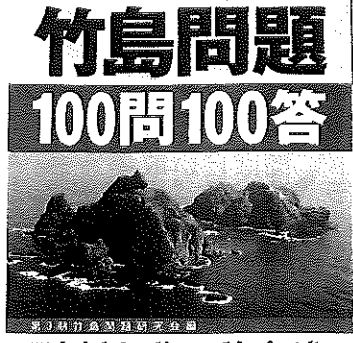


「領土に関する教育ハンドブック」  
(島根県教育委員会)

島根県では、平成十七年三月に制定された「竹島の日」を定める条例の趣旨を踏まえ、国民や県民の理解と世論の盛り上がりを目指しさまざまな啓発活動を行っている。特に学校教育については、島根県内のすべての小・中・高・特別支援学校で「竹島に関する学習」が行われている。その中核となっているのが、「領土教育」を担う島根県教育委員会であり、それらを支えるのが、島根県が平成十九年に設置した島根県竹島問題研究会である。

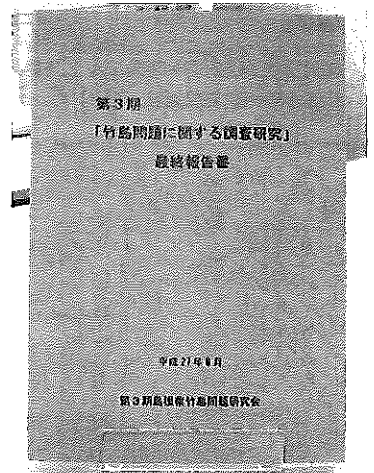
島根県教育委員会では、「領土教育」のより一層の充実を図るため、竹島問題に関する独自の教材や資料などをまとめ、竹島問題や北方領土問題、尖閣諸島をめぐる問題など領土や領土問題について、平成二十七年三月に「領土に関する教育ハンドブック」として発行している。また、第三期の島根県竹島問題研究会は、同研究会の三期にわたる成果を踏まえ、それまでに島根県に寄せられた質問や説明が必要と思われる事項について回答形式でまとめ、平成二十六年三月に「竹島問題 一〇〇問一〇〇答」(ワック出版)として発行している。

さらに、第三期の研究会の成果は、「第三期竹島問題に関する調査研究」最終報告書」としてまとめられ、平成二十七年八月に発行されている。



「竹島問題 100問100答」  
(ワック出版)

三、「領土教育」の課題について  
「一」で前述したとおり、「領土教育」



「第3期「竹島問題に関する調査研究」最終報告書」  
(第3期島根県竹島問題研究会)

れた配当時間の中で、学齢や学校種、地域等の実情等に配慮し、それぞれが連携し、情報を交換しつつ、系統的に工夫して実施する必要がある。その点でも、県・市町村教育委員会の果たす役割は大きい。

四、「実効支配」の用語使用について  
終わりに、「竹島問題」に関わって、気になる点について述べたいと思う。それは、「実効支配」の使い方についてである。

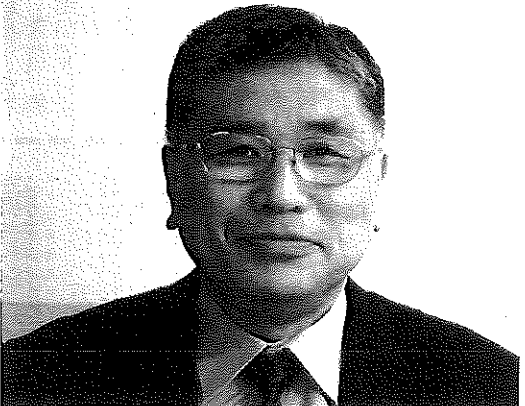
国際法専攻の中野徹也関西大学教授によれば、「特に明確な定義があるというわけではないが、一般的には、国家の主権が及んでいる領土に対して、その主権が有効に行使されている状態をいうと解されている」と述べている。

その場合、「主権の表示—国家の立法・司法・行政上の統治権の行使—が継続的かつ平穩になされている」状態をいうと中野教授は説明している。さらに、「平穩」の要件として、「他国から異議が申し立てられていない状態」をいい、「関係国から抗議が適時に、かつ継続してなされて」いないことを指摘している。

現在の報道や発言等で韓国による「竹島の現状」を「実効支配」と見聞きすることが多々あるが、島根県及び島根県竹島問題研究会では竹島の現状を、意図的に「実効支配」「不法占拠」等と呼び、その用語で表記するべきことの違いを表現している。

中野教授は、「正確な知識を普及させることは喫緊の課題」と述べている。「領土問題の基本」として肝に銘じる必要のある指摘と考える。

※「実効支配」については『竹島問題 一〇〇問一〇〇答』一三二〜一三三ページを参照されたい。



日本近代史、社会科・歴史教育論 1953(昭和28)年、島根県隠岐郡西郷町(現・隠岐の島町)生まれ。島根県公立高校教員に採用され、松江北高校教諭、県立松江教育センター(現・島根県教育センター)指導主事兼班長等を務めて退職。現在、松徳学院高校教諭、島根大学嘱託講師、NHK文化センター講師。

### 佐々木 茂氏

## 竹島の日を定める条例

(趣旨)

第1条 県民、市町村及び県が一体となって、竹島の領土権の早期確立を目指した運動を推進し、竹島問題についての国民世論の啓発を図るため、竹島の日を定める。

(竹島の日)

第2条 竹島の日は、2月22日とする。

(県の責務)

第3条 県は、竹島の日趣旨にふさわしい取組を推進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 目 次

1. 論点整理 .....	1
2. 研究会の開催状況 .....	9
3. 調査活動の概要 .....	14
4. 委員による研究レポート .....	16
(1) 村上家古文書「元禄九丙子年朝鮮舟着岸一卷之覚書」読み下し(内田委員) .....	17
(2) 「鳥取藩政資料から見た竹島問題(安龍福の来藩の記録)」(谷口委員) .....	38
(3) 「絵図・地図からみる竹島一韓国側の史料を事例として一」(船杉委員) .....	43
(4) 「日本・韓国間の漂流の歴史と竹島問題」(杉原副座長) .....	51
(5) 「竹島/独島関係史・資料目録」(福原委員) .....	59
5. 収集・調査資料 .....	137
(1) 新たな資料	
1) 村上家「元禄九丙子年朝鮮舟着岸一卷之覚書」(海士町村上家所蔵) .....	138
(2) 調査資料 .....	155
1) 高見家「三国通覽輿地路程全図」等巻物(出雲市旧家所蔵) .....	156
2) 藤間家「大日本海陸全図」(出雲市旧家所蔵) .....	158
3) 藤間家「明治9年日本地誌略;教材用小学用地図」(出雲市旧家所蔵) .....	160
(3) 史料・資料リスト	
1) 竹島関係文書リスト(古文書簿冊等・総務課所蔵) *第1回研究資料 .....	161

2) 竹島関係写真リスト (総務課所蔵) * 第1回研究資料	163
3) 鳥取県立博物館所蔵竹島関係資料 * 第1回研究資料	165
4) 島根県立図書館竹島関係資料目録 (田村のり子氏寄贈)	183
5) 提供資料・研究会収集資料リスト	186
6) 内藤正中氏収集竹島関係資料目録	188
6. 今後の調査研究テーマ	198
7. 竹島問題研究会設置要綱	200

# 目 次

最終報告にあたって	
「竹島の日」条例から二年（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	9
2. 研究レポート	
(1) 江戸期における竹島問題	
・「大谷家、村川家関係文書再考」（杉原 隆）	13
・「八右衛門、金森建策、松浦武四郎の「竹嶋之図」について」（杉原 隆）	22
・「鳥取県立博物館所蔵 竹島（鬱陵島）・松島（竹島／独島）関係資料」（三田清人）	27
(2) 明治期における竹島問題	
・「領土編入に関わる諸問題と資・史料」（佐々木 茂）	58
・奥原碧雲竹島関係資料（奥原秀夫所蔵）をめぐって（塚本 孝）	62
〔資料〕「竹島経営者中井養三郎氏立志伝」明治39(1906)年（奥原碧雲）	71
(3) 戦後における竹島問題	
・サン・フランシスコ平和条約における竹島の取り扱い（塚本 孝）	75
(4) 絵図・地図からみた竹島問題	
・「島根県立古代出雲歴史博物館所蔵の竹島関係地図」（岡 宏三）	90
・「絵図・地図からみる竹島（II）」（船杉力修）	103
附 鬱陵島調査報告	
(5) 学校教育における竹島問題	
・「中学校教科書における竹島に関する記載状況の変化等と今後の課題」（伊藤博敏）	192
・隠岐の島町教育委員会発行のふるさと教育副教材（竹島に関する記述を抜粋）	200
竹島問題研究会設置要綱	209

### 3. 資料編 別添CDに収録

(1) 資料編……………内田文恵

凡例

- ・「磯竹島事略」筑波大学附属図書館所蔵
- ・「竹島紀事」国立公文書館所蔵

(2) 島根県所蔵竹島関係行政文書件名目録……………島根県総務部総務課

- ・「竹島一件書類」(明治38年～39年)
- ・「『秘』竹島」(明治38～41年)
- ・「竹島貸下・海鹽漁業書類」(明治38～41年)
- ・「涉外関係綴」(昭和26年)
- ・「涉外関係綴(竹島関係綴)」(昭和28年)

(3) 鳥取藩政資料……………三田清人

凡例

- ・「控帳」
- ・「御用人日記」
- ・「御用人日記写」
- ・「竹嶋之書附」
- ・「竹嶋之図」
- ・「小谷伊兵衛より差出候竹嶋之絵図」
- ・「因幡誌」
- ・「伯耆志」
- ・「伯耆民諺記」
- ・「伯耆民談記」

(4) 岡嶋家資料……………三田清人

- ・「竹島考」
- ・「因府年表」
- ・「因府歴年大雑集」
- ・「増補珍事録」
- ・「隠州視聴合紀(記)」
- ・「竹島渡海由来記抜書」

(5) 日韓会谈文書所収 竹島／独島関係資料……………福原裕二

(6) 「竹島／独島問題」に関する日韓両国往復外交文書(1952～76)……………福原裕二

(7) 竹島／独島関係史・資料目録……………福原裕二

### 4. 絵図・地図資料編 別添CDに収録

- (1) 国立公文書館所蔵
- (2) 鳥取県立博物館所蔵
- (3) 米子市立山陰歴史館所蔵
- (4) 島根大学附属図書館所蔵
- (5) 出雲市 個人所蔵
- (6) 出雲市 藤間家所蔵
- (7) 出雲市 馬庭家所蔵
- (8) 隠岐の島町 毛利家所蔵
- (9) 隠岐の島町 教育委員会所蔵
- (10) 隠岐の島町 隠岐郷土館所蔵

## 目 次

中間報告にあたって	
新たな局面を迎えた竹島問題（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	9
2. 研究レポート	
(1) 明治期における竹島問題	
・明治10年太政官指令 - 竹島外一島之儀ハ本邦関係無之 - をめぐる諸問題（杉原隆）	11
・1898(明治31)年韓国船遭難事件についての一考察（山崎佳子）	19
(2) 戦後における竹島問題	
・竹島の領有権をめぐる戦後の動向について（中野徹也）	29
・第二次世界大戦後の島根県と竹島（福原裕二）	48
（「竹島/独島研究における第三の視角」解題）	
・付記 「本報告書115～118頁掲載の『意見』に対して」（福原裕二）	69
・日韓会談の開始と竹島問題（藤井賢二）	71
・島根県の漁業者と日韓漁業紛争（藤井賢二）	84
(3) 学校における竹島教育	
・島根県内の小・中学校における「竹島に関する学習」の実施状況（曾田和彦）	98
3. その他	
・意見 「戦後（昭和期）における島根県の竹島問題への取り組み等」について（升田優）	115
・資料 戦後（昭和期）における島根県の竹島問題への取り組み等について（事務局）	119
竹島問題研究会（第2期）設置要綱	136

# 目 次

最終報告にあたって	
竹島問題の解決を阻むもの（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	15
2. 研究レポート	
(1) 明治期における竹島問題	
・1905年日本による竹島領土編入措置の法的性質-「無主地先占」説をめぐって-	
（中野徹也）	19
(2) 戦後における竹島問題	
・竹島問題における韓国の主張の形成（藤井賢二）	43
・韓国政府による竹島領有根拠の創作（山崎佳子）	61
・李承晩ライン宣言と韓国政府（藤井賢二）	79
(3) 学校における竹島教育	
・小・中学校における「竹島に関する学習」の推進状況	
～平成22・23年度の取組及び平成22年度の実施状況～（曾田和彦）	99
・竹島学習リーフレット（中学生向け）の作成と活用について	
（伊藤博敏、常角敏、山口修司）	113
・高等学校・特別支援学校における竹島に関する学習の推進状況（馬庭寿美代）	121
・高校における「竹島問題」学習のあり方について（佐々木茂）	123
(4) その他	
・江戸期から昭和期にかけて竹島問題に関わった隠岐の人々の軌跡（杉原隆）	181
・鬱陵島友会と『鬱陵島友会報』（福原裕二）	199
3. 資料編	
・韓国の歴史教科書の竹島問題関連の翻訳（下條正男）	225
・戦後（平成期）における島根県の取り組み等について（事務局）	253
4. 附録	
・竹島問題研究会〔第1期〕最終報告書批判へのコメント（塚本孝）	285
・竹島学習リーフレット「竹島～日本の領土であることを学ぶ～」	
（竹島学習リーフレット作成編集会議）	別冊
第2期竹島問題研究会設置要綱	299



## 目 次

第3期島根県竹島問題研究会の「最終報告書」について（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	5
2. 研究レポート	
(1) 戦後における竹島問題	
・山陰の漁業者と韓国 ―沖合底曳網漁業を中心に―（藤井賢二）	9
(2) 学校における竹島教育	
・「竹島に関する学習」の推進状況	
～平成25・26年度の取組及び実施状況～（伊藤尚史、植田道）	37
・高校日本史における「竹島問題」の取り扱いについて（佐々木茂、宇佐美朝士）	47
(3) 隠岐調査報告	
・昭和初期における竹島漁業の実態	
―関係者への聞き取り調査を通じて―（忌部正英）	63
(4) その他（研究協力員寄稿）	
・明治30年代初頭に島根県を訪れた鬱陵島民と洪在現の虚実（石橋智紀）	91
・明治39年鬱陵島で対面した神西由太郎と沈興澤に関する余録（杉原隆）	101
3. 資料編	
・朝鮮の水産業開発に関する文献リスト（1887～2014）（原田環、藤井賢二）	113
・資料提供について（事務局）	181
4. 附録	
・慶尚北道独島史料研究会の「竹島問題100問100答（ワック出版）に対する批判」の客観的検証	
その1（下條正男）	183
その2（藤井賢二）	195
その3（山崎佳子）	211
・“独島連”の「島根県知事に対する質問書“独島20問”」について（塚本孝）	221
第3期竹島問題研究会設置要綱	237

## 竹島の日を定める条例

(趣旨)

第1条 県民、市町村及び県が一体となって、竹島の領土権の早期確立を目指した運動を推進し、竹島問題についての国民世論の啓発を図るため、竹島の日を定める。

(竹島の日)

第2条 竹島の日は、2月22日とする。

(県の責務)

第3条 県は、竹島の日趣旨にふさわしい取組を推進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 目 次

1. 論点整理 .....	1
2. 研究会の開催状況 .....	9
3. 調査活動の概要 .....	14
4. 委員による研究レポート .....	16
(1) 村上家古文書「元禄九丙子年朝鮮舟着岸一卷之覚書」読み下し(内田委員) .....	17
(2) 「鳥取藩政資料から見た竹島問題(安龍福の来藩の記録)」(谷口委員) .....	38
(3) 「絵図・地図からみる竹島一韓国側の史料を事例として一」(船杉委員) .....	43
(4) 「日本・韓国間の漂流の歴史と竹島問題」(杉原副座長) .....	51
(5) 「竹島/独島関係史・資料目録」(福原委員) .....	59
5. 収集・調査資料 .....	137
(1) 新たな資料	
1) 村上家「元禄九丙子年朝鮮舟着岸一卷之覚書」(海士町村上家所蔵) .....	138
(2) 調査資料 .....	155
1) 高見家「三国通覽輿地路程全図」等巻物(出雲市旧家所蔵) .....	156
2) 藤間家「大日本海陸全図」(出雲市旧家所蔵) .....	158
3) 藤間家「明治9年日本地誌略;教材用小学用地図」(出雲市旧家所蔵) .....	160
(3) 史料・資料リスト	
1) 竹島関係文書リスト(古文書簿冊等・総務課所蔵) *第1回研究資料 .....	161

2) 竹島関係写真リスト (総務課所蔵) *第1回研究資料	163
3) 鳥取県立博物館所蔵竹島関係資料 *第1回研究資料	165
4) 島根県立図書館竹島関係資料目録 (田村のり子氏寄贈)	183
5) 提供資料・研究会収集資料リスト	186
6) 内藤正中氏収集竹島関係資料目録	188
6. 今後の調査研究テーマ	198
7. 竹島問題研究会設置要綱	200

# 目 次

最終報告にあたって	
「竹島の日」条例から二年（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	9
2. 研究レポート	
(1) 江戸期における竹島問題	
・「大谷家、村川家関係文書再考」（杉原 隆）	13
・「八右衛門、金森建策、松浦武四郎の「竹嶋之図」について」（杉原 隆）	22
・「鳥取県立博物館所蔵 竹島（鬱陵島）・松島（竹島／独島）関係資料」（三田清人）	27
(2) 明治期における竹島問題	
・「領土編入に関わる諸問題と資・史料」（佐々木 茂）	58
・奥原碧雲竹島関係資料（奥原秀夫所蔵）をめぐって（塚本 孝）	62
〔資料〕「竹島経営者中井養三郎氏立志伝」明治39(1906)年（奥原碧雲）	71
(3) 戦後における竹島問題	
・サン・フランシスコ平和条約における竹島の取り扱い（塚本 孝）	75
(4) 絵図・地図からみた竹島問題	
・「島根県立古代出雲歴史博物館所蔵の竹島関係地図」（岡 宏三）	90
・「絵図・地図からみる竹島（II）」（船杉力修）	103
附 鬱陵島調査報告	
(5) 学校教育における竹島問題	
・「中学校教科書における竹島に関する記載状況の変化等と今後の課題」（伊藤博敏）	192
・隠岐の島町教育委員会発行のふるさと教育副教材（竹島に関する記述を抜粋）	200
竹島問題研究会設置要綱	209

### 3. 資料編 別添CDに収録

(1) 資料編……………内田文恵

凡例

- ・「磯竹島事略」筑波大学附属図書館所蔵
- ・「竹島紀事」国立公文書館所蔵

(2) 島根県所蔵竹島関係行政文書件名目録……………島根県総務部総務課

- ・「竹島一件書類」(明治38年～39年)
- ・「『秘』竹島」(明治38～41年)
- ・「竹島貸下・海鹽漁業書類」(明治38～41年)
- ・「涉外関係綴」(昭和26年)
- ・「涉外関係綴(竹島関係綴)」(昭和28年)

(3) 鳥取藩政資料……………三田清人

凡例

- ・「控帳」
- ・「御用人日記」
- ・「御用人日記写」
- ・「竹嶋之書附」
- ・「竹嶋之図」
- ・「小谷伊兵衛より差出候竹嶋之絵図」
- ・「因幡誌」
- ・「伯耆志」
- ・「伯耆民諺記」
- ・「伯耆民談記」

(4) 岡嶋家資料……………三田清人

- ・「竹島考」
- ・「因府年表」
- ・「因府歴年大雑集」
- ・「増補珍事録」
- ・「隠州視聴合紀(記)」
- ・「竹島渡海由来記抜書」

(5) 日韓会谈文書所収 竹島／独島関係資料……………福原裕二

(6) 「竹島／独島問題」に関する日韓両国往復外交文書(1952～76)……………福原裕二

(7) 竹島／独島関係史・資料目録……………福原裕二

### 4. 絵図・地図資料編 別添CDに収録

(1) 国立公文書館所蔵

(2) 鳥取県立博物館所蔵

(3) 米子市立山陰歴史館所蔵

(4) 島根大学附属図書館所蔵

(5) 出雲市 個人所蔵

(6) 出雲市 藤間家所蔵

(7) 出雲市 馬庭家所蔵

(8) 隠岐の島町 毛利家所蔵

(9) 隠岐の島町 教育委員会所蔵

(10) 隠岐の島町 隠岐郷土館所蔵

## 目 次

中間報告にあたって	
新たな局面を迎えた竹島問題（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	9
2. 研究レポート	
(1) 明治期における竹島問題	
・明治10年太政官指令 - 竹島外一島之儀ハ本邦関係無之 - をめぐる諸問題（杉原隆）	11
・1898(明治31)年韓国船遭難事件についての一考察（山崎佳子）	19
(2) 戦後における竹島問題	
・竹島の領有権をめぐる戦後の動向について（中野徹也）	29
・第二次世界大戦後の島根県と竹島（福原裕二）	48
（「竹島/独島研究における第三の視角」解題）	
・付記 「本報告書115～118頁掲載の『意見』に対して」（福原裕二）	69
・日韓会談の開始と竹島問題（藤井賢二）	71
・島根県の漁業者と日韓漁業紛争（藤井賢二）	84
(3) 学校における竹島教育	
・島根県内の小・中学校における「竹島に関する学習」の実施状況（曾田和彦）	98
3. その他	
・意見 「戦後（昭和期）における島根県の竹島問題への取り組み等」について（升田優）	115
・資料 戦後（昭和期）における島根県の竹島問題への取り組み等について（事務局）	119
竹島問題研究会（第2期）設置要綱	136

# 目 次

最終報告にあたって	
竹島問題の解決を阻むもの（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	15
2. 研究レポート	
(1) 明治期における竹島問題	
・1905年日本による竹島領土編入措置の法的性質-「無主地先占」説をめぐって-	
（中野徹也）	19
(2) 戦後における竹島問題	
・竹島問題における韓国の主張の形成（藤井賢二）	43
・韓国政府による竹島領有根拠の創作（山崎佳子）	61
・李承晩ライン宣言と韓国政府（藤井賢二）	79
(3) 学校における竹島教育	
・小・中学校における「竹島に関する学習」の推進状況	
～平成22・23年度の取組及び平成22年度の実施状況～（曾田和彦）	99
・竹島学習リーフレット（中学生向け）の作成と活用について	
（伊藤博敏、常角敏、山口修司）	113
・高等学校・特別支援学校における竹島に関する学習の推進状況（馬庭寿美代）	121
・高校における「竹島問題」学習のあり方について（佐々木茂）	123
(4) その他	
・江戸期から昭和期にかけて竹島問題に関わった隠岐の人々の軌跡（杉原隆）	181
・鬱陵島友会と『鬱陵島友会報』（福原裕二）	199
3. 資料編	
・韓国の歴史教科書の竹島問題関連の翻訳（下條正男）	225
・戦後（平成期）における島根県の取り組み等について（事務局）	253
4. 附録	
・竹島問題研究会〔第1期〕最終報告書批判へのコメント（塚本孝）	285
・竹島学習リーフレット「竹島～日本の領土であることを学ぶ～」	
（竹島学習リーフレット作成編集会議）	別冊
第2期竹島問題研究会設置要綱	299



## 目 次

第3期島根県竹島問題研究会の「最終報告書」について（下條正男）	1
1. 研究会の開催状況	5
2. 研究レポート	
(1) 戦後における竹島問題	
・山陰の漁業者と韓国 ―沖合底曳網漁業を中心に―（藤井賢二）	9
(2) 学校における竹島教育	
・「竹島に関する学習」の推進状況	
～平成25・26年度の取組及び実施状況～（伊藤尚史、植田道）	37
・高校日本史における「竹島問題」の取り扱いについて（佐々木茂、宇佐美朝士）	47
(3) 隠岐調査報告	
・昭和初期における竹島漁業の実態	
―関係者への聞き取り調査を通じて―（忌部正英）	63
(4) その他（研究協力員寄稿）	
・明治30年代初頭に島根県を訪れた鬱陵島民と洪在現の虚実（石橋智紀）	91
・明治39年鬱陵島で対面した神西由太郎と沈興澤に関する余録（杉原隆）	101
3. 資料編	
・朝鮮の水産業開発に関する文献リスト（1887～2014）（原田環、藤井賢二）	113
・資料提供について（事務局）	181
4. 附録	
・慶尚北道独島史料研究会の「竹島問題100問100答（ワック出版）に対する批判」の客観的検証	
その1（下條正男）	183
その2（藤井賢二）	195
その3（山崎佳子）	211
・“独島連”の「島根県知事に対する質問書“独島20問”」について（塚本孝）	221
第3期竹島問題研究会設置要綱	237